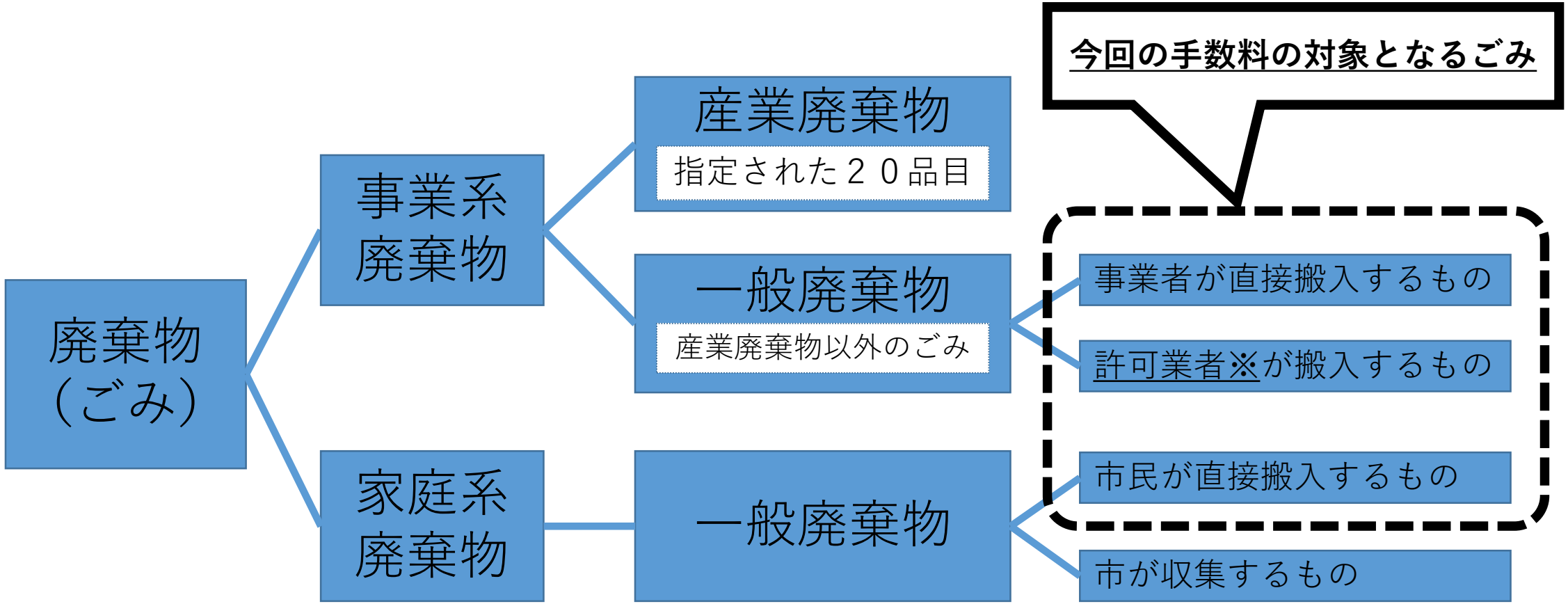
一般廃棄物処理手数料（ごみ）算定資料

環境部　廃棄物政策課

１．ごみの分類



※「許可業者」…一般廃棄物収集運搬許可業者のことで，市からごみの収集運搬を行う許可を受けている事業者。

２．ごみ処理費用の算定方法

（１） 算定基準

①廃棄物処理事業原価計算の手引（㈳全国都市清掃会議）

②受益者負担の適正化基準（柏市）

（２）対象となる主な経費

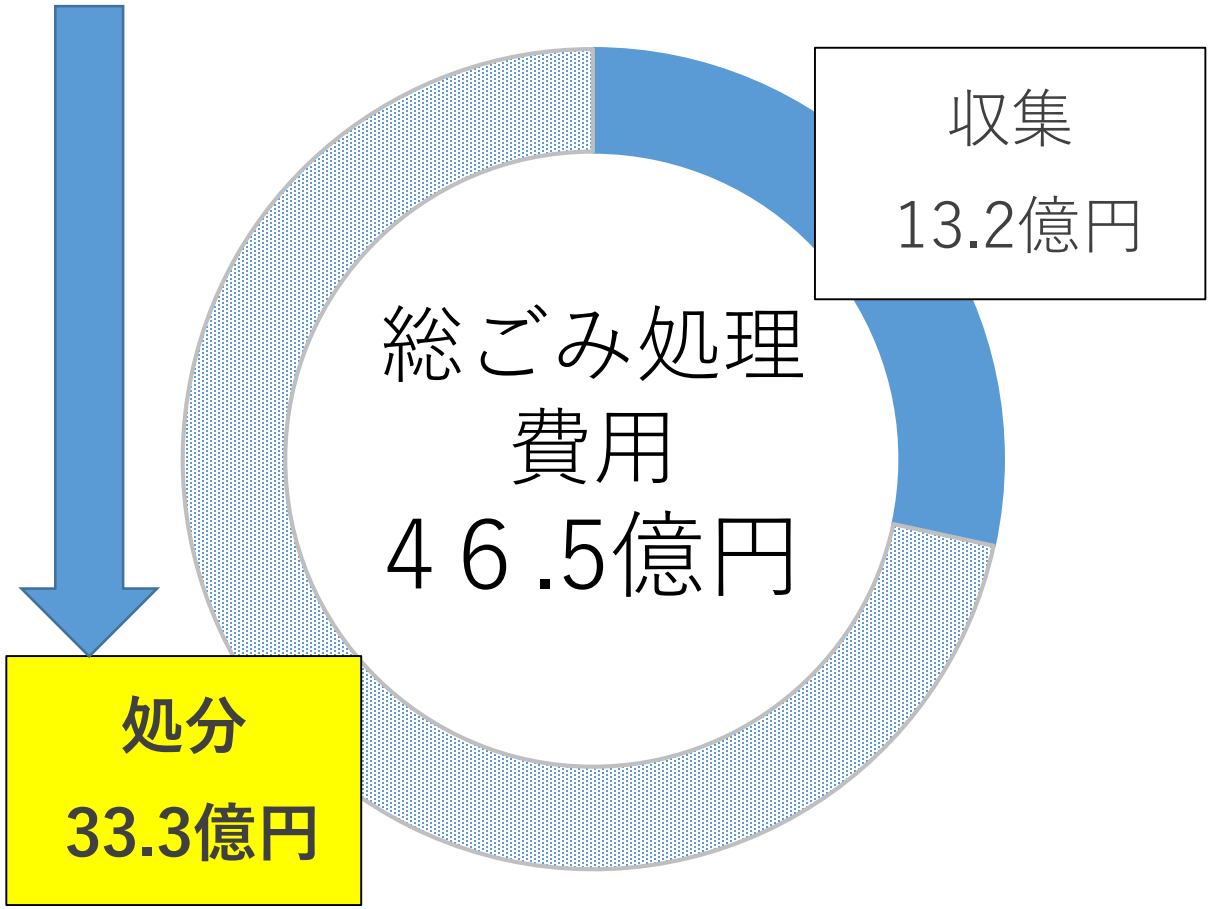
①人件費（給料，手当等）

②物件費（燃料費，光熱水費，修繕料，保険料，委託料，
使用料，賃借料，工事請負費，公課費等）

③減価償却費（建物，機械，自動車等）

３．柏市の総ごみ処理費用

手数料の対象となるのは「処分」の費用の一部

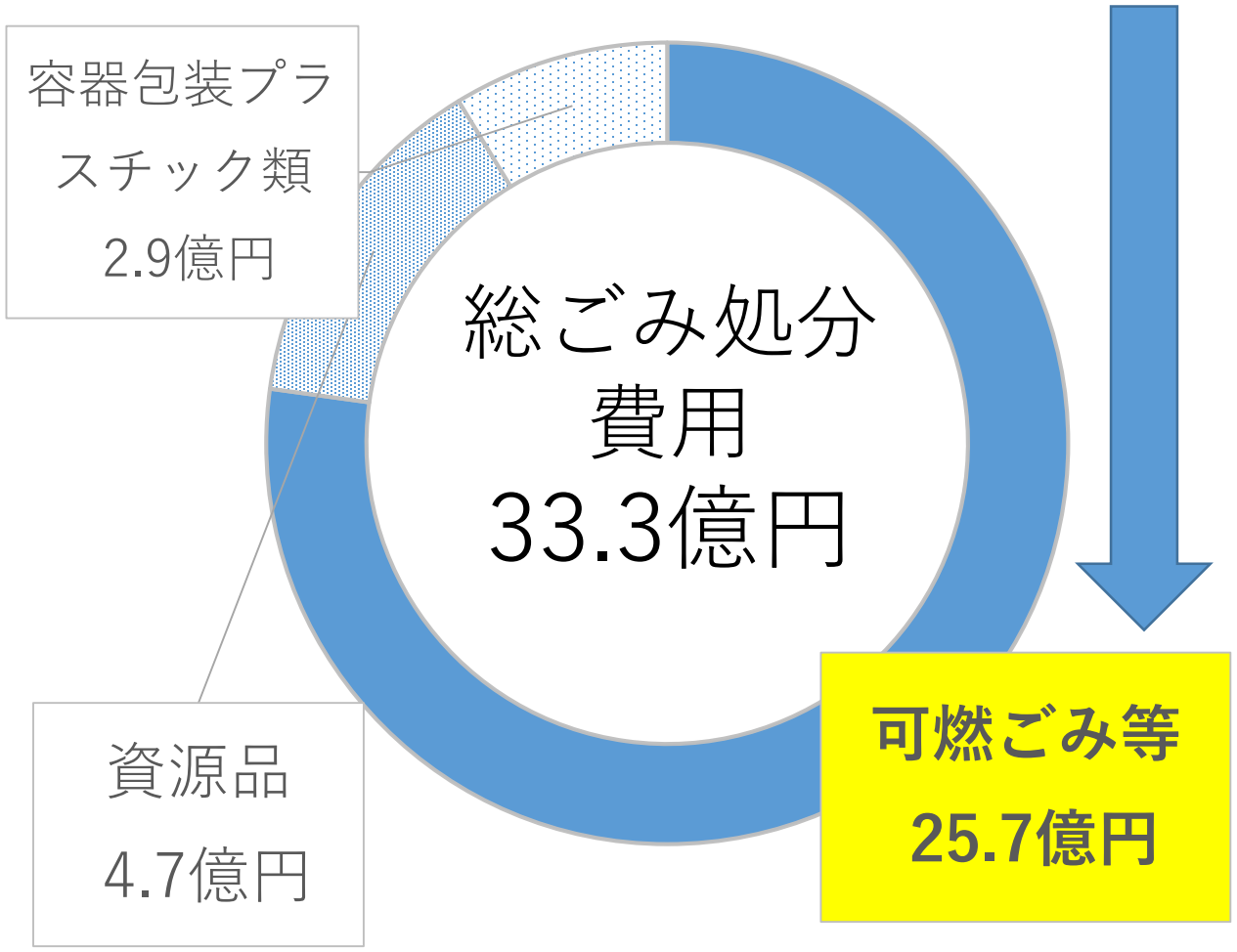


- 「収集」は，家庭から集積所に出されたごみの収集に要する費用。
- 「処分」は，家庭や事業所から排出され，清掃工場に集められたごみの焼却，選別圧縮処理等に要する費用。

「平成30年度　柏市清掃事業概要」より

４．柏市のごみ処分費用

手数料の対象となるのは「可燃ごみ等」の処分費用の一部



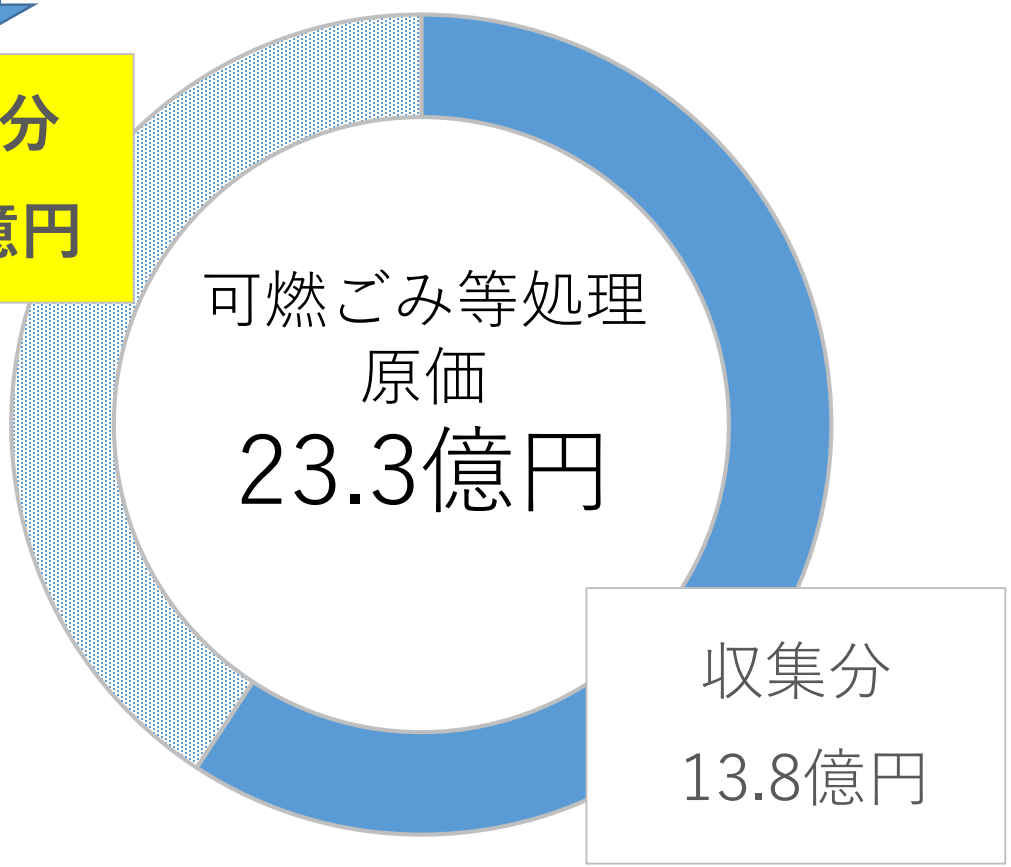
- 「可燃ごみ等」は，家庭や事業所から排出される可燃ごみや，不燃ごみと粗大ごみを破砕して，市の清掃工場で焼却し，最終処分するのに要する費用。
- 「資源品」は，家庭から排出される資源品の選別圧縮に要する費用。
- 「容器包装プラスチック類」は，家庭や事業所から排出される容器包装プラスチック等の選別圧縮に要する費用。

「平成30年度　柏市清掃事業概要」より

５．一般廃棄物処理手数料の対象原価

手数料の対象となるのは「直搬分」の原価

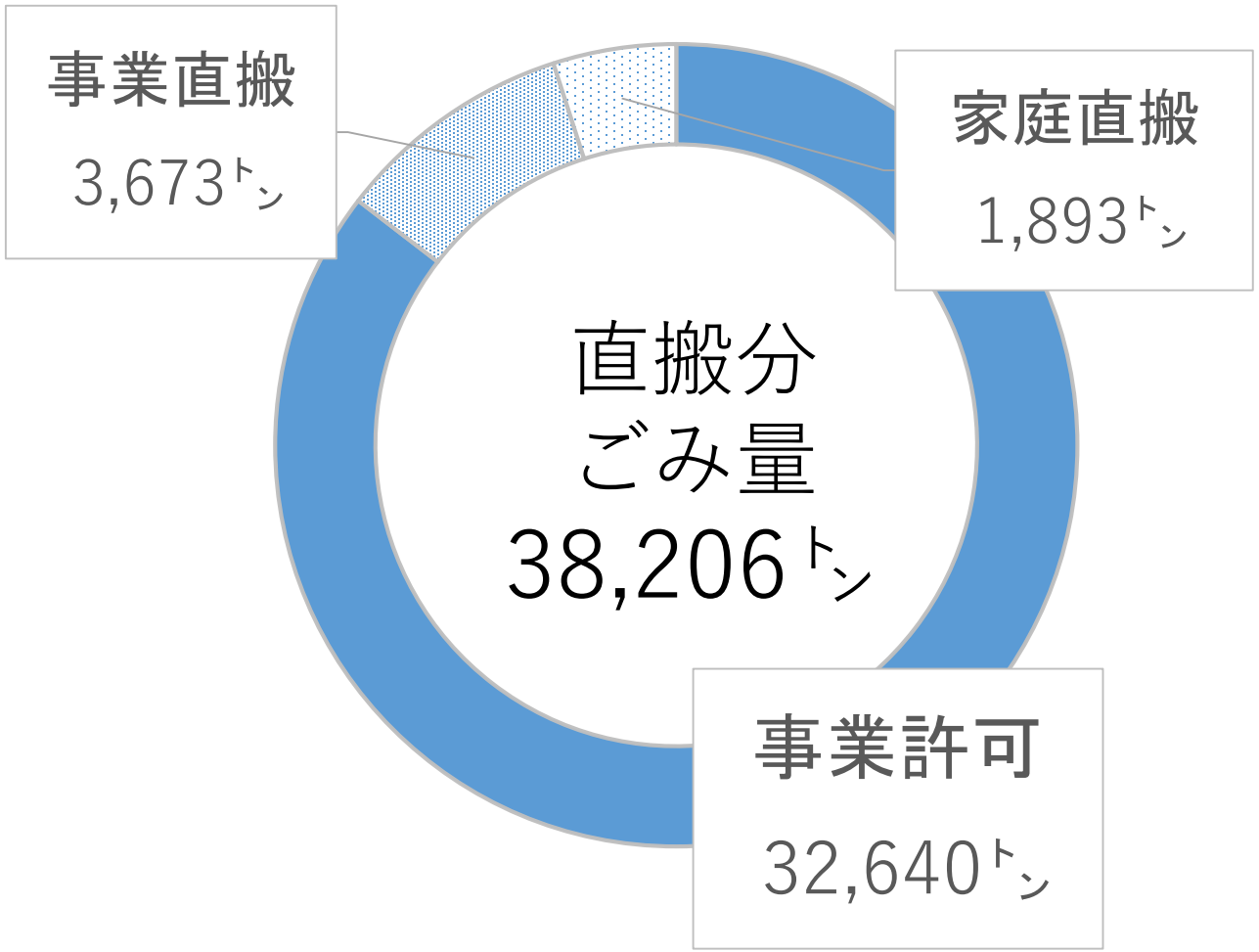
直搬分
9.5億円



- 「可燃ごみ等処理原価」の23.3億円は，「可燃ごみ等」の処理費用25.7億円から諸収入（東京電力からの賠償金等）を差し引いたもの。
- 「収集分」は，市が集積所から収集した可燃ごみ，不燃ごみ等の処理に要する原価。
- 「直搬分」は，事業所や家庭から排出され，本人又は許可業者によって持ち込まれたごみの処理に要する原価。
- 「収集分」と「直搬分」の費用は総原価をそれぞれの処理量で案分して算出したもの。

6．直搬分のごみの内訳

手数料の対象となるのは「直搬分」の全量



- 「事業許可」は，主に事業者が排出したごみを，許可業者が受託して収集し，市の清掃工場に搬入した量。
- 「事業直搬」は，事業者が排出したごみを，自ら市の清掃工場に搬入した量。
- 「家庭直搬」は，一般家庭から排出されたごみを，市民が自ら市の清掃工場に搬入した量。

「平成30年度　柏市清掃事業概要」より

７．手数料の算定

(A) 対象原価	約９．５億円（947,044,111円）
(B) 処理量	３８，２０６ﾄﾝ
(C) (A)÷(B)	２４，７８８円/ﾄﾝ　＝　２４７．８８円/10kg

原価は，平成３０年度のものであり，当時の消費税率８％で計上されている。これを，１０％の税率に置き換えると・・・

(D) 税率10％	２５２．４７円/10kg　≒　**２５０円/10kg** （現行の１９８円/10kgから**５２円の値上げ**）

※上記数値はＨ３０年度の数値を基に算定